

# ASU

愛知産業大学  
校友会 会報誌  
2025  
vol.23

## communication

### contents

- 02 - Message from ASU
- 03 - News & Topics
- 04 - Message from ASU Communication
- 06 - OTONA HARAYAMA Festival
- 08 - Voice of OB・OG
- 14 - Information

## 校友会からのご挨拶

爽秋の候、皆様いかがお過ごしでしょうか。今年も愛知産業大学の校友会会報誌をお届けすることができ、大変嬉しく思います。

今年ご卒業された皆様は正会員として、4月に新たに入学された在学生の皆様は準会員として、そしてご新任の教職員の先生方は特別会員として校友会の仲間入りをされました。新しく愛知産業大学校友会の一員となられた皆様を心より歓迎いたします。

校友会とは、卒業生の有志を中心に運営され、会員相互の親睦と

母校の発展に寄与することを目的としております。今年度、愛知産業大学校友会では、在学生の皆さんの学業や活動を幅広く応援するため、従来の返済型の奨学金制度を変更し、給付型奨学金制度を設けました。校友会の支援が、在学生の挑戦と成長の一助となれば幸いです。今後とも、校友会の活動へのご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。皆様のご健康とご多幸を心よりお祈り申し上げます。

### 先生方の異動情報

令和6年度にご退任された先生方、在任中の熱心なご教授ありがとうございました。感謝の気持ちを込めて紹介させていただきました。

新任	章 忠	造形学部	スマートデザイン学科	教授	退職	伊藤庸一郎	造形学部	スマートデザイン学科	教授
	塚田 元	造形学部	スマートデザイン学科	教授		林 達明	経営学部	総合経営学科	教授
	奥村健太	造形学部	スマートデザイン学科	准教授		林 里奈	造形学部	スマートデザイン学科	准教授

## 愛産大 NEWS&TOPICS

建築学科・建築競技部ACC | 建築系愛知17大学共通設計競技で優秀賞を受賞

第6回建築系愛知17大学共通設計競技に、本学建築競技部ACCから6チームが参加しました。公開審査を受けた35作品のうち、建築学科3年谷澤綺留さん、2年浅井涼也さん、1年渡口翔天さん、藤田真央さん、知念裕真さんのチームが発表した「彩雫(いろしずく)」が優秀賞を受賞しました。



### ■強化指定団体の成績(令和6年度)

指定強化部	大会名/実績
硬式野球部	愛知大学野球連盟 春季リーグ/2部2位 愛知大学野球連盟 秋季リーグ/2部1位
アーチェリー部	全日本学生アーチェリー王座決定戦 団体戦/ 男子団体3位、女子団体6位 全日本学生ターゲット選手権大会/男子個人6位 西川晴貴 ナショナルチーム選考会/日本代表選出 西川晴貴 U21ナショナルチーム選考会/U21日本代表選出 西村遼、丹生谷るる 全日本学生室内アーチェリー選手権大会/ 男子個人2位 澤田桃太、5位 松野智一 女子個人4位 古藤つばみ
男子バレーボール部	東海連盟 春季リーグ/2部2位1部昇格 東海連盟 秋季リーグ/1部8位2部降格 愛知県連盟 春季リーグ/2部1位1部昇格 愛知県連盟 秋季リーグ/1部4位
男子ハンドボール部	東海学生ハンドボール 春季リーグ/1部5位 東海学生ハンドボール 秋季リーグ/1部5位

### 経営学部

石橋豊教授が研究リーダーを務める「知の拠点あいち重点研究プロジェクトIV期」において、国内初の開発に成功

「多感覚ICTを用いたフレイル予防・回復支援システムの研究開発」において、本学石橋豊教授、名古屋工業大学の森田良文教授らの研究チームが、手指デバイスを利用した精神的フレイル(軽度認知障害等)の予防・回復を促す脳力トレーニングシステム開発に国内で初めて成功しました。





愛知万博20周年記念事業である「地球を愛する学園祭」に愛知産業大学学生が参加しました！



## 『木もの屋』KOMONOYA

建築学科・スマートデザイン学科・総合経営学科から25名の学生が集い、木材の魅力を伝えるワークショップやオリジナル木製品販売を行う『木もの屋』を立ち上げました。



MIT賞「地球を愛する学園祭」第四タームにおいて、来場者投票により最も印象に残るブースとして高く評価されました。

テーマは「暮らしに溶け込む木製品」  
「木もの屋」を通して、自然の温もりを伝えたい！



木造の組立店舗を制作し、コマ立てやトレーを商品開発。ワークショップではコマづくりの体験も。大変だったけど、達成感はひとしお！！

学生代表／建築学科3年 長谷川 航大

店舗設計や商品開発、すべてが学生主体。  
現場の楽しさを存分に味わおう！



社会人だからこそ、味わうことのできるお客様とのふれあいや感動を在学中に体感することで、ものづくりの醍醐味を味わってほしい！

管理責任者／建築学科講師  
産業デザイン学科卒・1期生 森本達也

ロゴもデザインも商品開発も。  
ものづくりの体験で、さらなる成長に期待！  
スマートデザイン学科准教授／森 理恵

自己満足よりも顧客満足を！  
実践的な経験は、将来の貴重な糧となる。

総合経営学科教授・学科長／山崎方義

# 愛知産業大学を 卒業生が盛り上げよう！

## 1 卒業生の活動や同窓会を支援します！

### 校友会後援事業

卒業生主催の作品展や、ワークショップ、講演会、研修会、同窓会、非常利事業などの活動に対し、10万円を上限とし費用を支援します。

- 募集期間：4月～10月13日
- 審査：大学祭にて審査
- 会計処理：翌年2月末迄
- 募集申請：申請書＋根拠(会場申請のコピー、DM、記録、パンフなど)提出

## 2 在校生も応援します！

校友会卒業研究支援／審査員賞  
造形学部・経営学部の卒業研究(作品・論文)を対象に、研究成果の評価や制作意欲向上のため「校友会審査員賞」の授与や作品展示の支援を実施しています。

愛知産業大学校友会 奨学金制度  
2025年度より、給付型奨学金(返還不要)に変更して実施します。  
※詳細はP.15

### 2025 支援実績



## 3 校友会Facebookで応援！

頑張る卒業生をささやかながら応援しています。卒業生の店舗や作品、イベントなどをほぼ毎日、校友会SNSに掲載して応援し続けます！  
愛知産業大学校友会Facebookに「いいね！」もお願いします！

同窓会／活動支援の申請方法がカンタンになりました！！

愛知産業大学  
校友会WEBサイト



「各種申請・お問い合わせ」にて書類や入力フォームで申請！！

校友会はこれからの母校のために、卒業生として何が出来るかを真剣に考え行動を開始します！  
卒業生の皆様、力を貸してください。

# 2025

愛知産業大学 大学祭

# 第33回

卒業生も盛り上がり!

# 大人

# 原山祭

SAT SUN  
10/11・12

10:00~18:00

## 原山祭 実行委員より

今年の大学祭のテーマは、原山ナイトメア～悪夢の中で、最高の思い出を～です。一見ネガティブな印象がありますが、“夢”や“幻想”の意味もあり、「怖いけれどワクワクする」「先が読めないけど引き込まれる」といった魅力があります。“悪夢のような空間”の中で、現実を忘れてしまうほどの“最高の思い出”を作ってほしい——そんな願いがこのテーマには込められています!!みなさまと思い切り楽しめる空間を演出したいと思います。詳細は、愛知産業大学のwebサイトにてお知らせいたします。  
URL▶ <https://www.asu.ac.jp/>

## 校友会企画 大人原山祭「変革」～継続可能な未来へ～

校友会は原山祭にて、卒業生同士の親睦促進や、在学生・大学との交流を目的に「集いの場の創出」を企画しています。気心の知れた同窓生や先生とお話する場にお立ち寄りいただきますようお願いいたします。

- 日 時 / 10月11日(土)・10月12日(日)両日開催 10:00~18:00(一部22:00)
- 設 営 / 10月10日(金)9:00~22:00 撤 去 / 10月13日(月・祝)9:00~17:00 ※設営・撤去のボランティア募集中!
- 場 所 / 愛知産業大学 クラブハウス棟 原山祭エリア(屋外)

### 10/11 19:00~22:00

#### 「大同窓会」 会費無料

校友会主催の大同窓会を開催します。食事会、余興、写真撮影など卒業生同士の親睦、大学との交流を深めるイベントをご用意。会費無料!登録制にてアルコールOK!差入れ大歓迎!



### 10/12 12:00~

#### 「校友会総会」

校友会のPRや活動報告、役員の募集をします。毎年頑張っている卒業生役員に、エールを送ってください!

#### 「卒業生記念撮影」

校友会総会の最後、会場に卒業生を集めて記念撮影をします。校友会webサイトや、次回会報誌に掲載。卒業生の皆様、お集まりください!

## 運営スタッフ 出展者募集

一人でも、卒業生のグループでも、モノ・コト問わず楽しい展示を実現しましょう。在学生・先生・卒業生同士のコミュニケーションやコラボレーションの場にも、お役立てください。概要詳細および、エントリーは校友会webサイトまたはFacebookにて案内します。

PC / 携帯共通  
<https://www.asu-mate.com/>

facebook検索  
愛知産業大学校友会



#### ナチュラルリズム

サウンドシステムから響きわたるOBによるグッドミュージック!(10月11日のみ)

1 day



#### スーパーフード

「Harayama Bar」「かってにやって屋」「まかない食堂」ドリンク、おでん、創作料理など。くつろぎの場や、交流のスペースをご用意。

2 days



#### ハンドメイドマルシェ

デザイン学科卒業27期生のハンドメイド作品。原山祭会場に出店。

2 days



#### ライブペイント

巨大な壁面に2日間に渡って描き上げる、アートパフォーマンス。

2 days



#### 鳥仙珈琲

産業デザイン学科卒業1期生の自家焙煎珈琲豆販売所、出張カフェ。

2 days



#### タダブタ

コロナ前まで継承されていた、原山祭の伝統行事である豚の丸焼きを復活させ、毎年の恒例行事へと定着させようとするプロジェクト。

2 days



#### 体験 workshop

創る・作るをコンセプトに卒業生が運営する、シルクスクリーン・木工クラフトなど。小さなお子様も簡単に制作できます。

2 days





七宝の彩と輝きを次代へ。  
創業約150年の老舗ブランドで、新アイテムにも挑戦

株式会社丹陽商会  
(安藤七宝店グループ会社)

山田剛嗣・やまだ たけし

1983年11月2日生まれ。名古屋市緑区出身。手に職をつけ高校卒業後はメーカーへ就職したいと考え、東海工業専門学校へ進学するが、ご両親の「大学は卒業してほしい」との願いに応え、愛知産業大学経営学部に入學。在学中は、漫画研究同好会に所属し漫画や小説の制作に打ち込む。同好会の仲間とは、今でも酒を酌み交わす仲。大学で得た大切な絆であるという。家庭では、5歳、3歳、0歳のお子さんの良きパパ。休日には近くの鞍ヶ池公園でお子さんたちと遊び、自宅の庭でバーベキューを楽しんでいる。

山田 剛嗣 さん

(経営学部経営環境学科・2006年卒業/11期生)

「地元を代表する伝統産業もあります」と、就職相談室の先生から安藤七宝店を紹介されました。七宝の存在すら知らなかった私ですが、花瓶や飾り皿の美しい彩と輝きにはまり、入社を決めました。初任給をもらった時には、祖父母や両親にペン皿や置時計などをプレゼントしました。皆大喜びでしたが、それほど名古屋の人々にとって、大切な伝統工芸なのだ実感しました。

日本の七宝技術は奈良時代にシルクロードを経て伝来。技術の中心地として知られるのが尾張地方で、江戸時代の末期に梶常吉によって尾張七宝の基礎が作られました。この尾張七宝が生まれて間もない1880年に創業したのが、わが社です。その製法は銅や銀などの金属素地にガラス質の釉薬で図柄を描き、焼き付けて仕上げるものです。ガラスの色彩を用いて絵を描くため、複数の色が折り重なった深みのある色彩となるのが七宝焼の魅力です。宮内庁御用達をはじめ、官公庁や企業、海外出張の土産などに愛用されていますが、愛・地球博などでは、モリゾー・キッコロのスプーンを販売するなど、大規模なイベント用にも作品を製作しています。特に人気があるのは、赤富士に桜、愛知県の県花であるカキツバタを描いた額や絵皿です。企業の新社屋や施設の竣工祝いなど、縁起物のお祝いとして使われています。

入社後13年間は、営業として官公庁や法人を担当しましたが、私は寡黙で人見知り。営業は苦手で、辞めようと思ったことは一度や二度ではありません。そんな私が続けてこられたのは、社内の温かい雰囲気です。人間関係はすごく良好で、伝統工芸を後世へつないでいこうという静かな意志も根付いています。苦手な営業でしたが、それでも、顧客から「山田さん今度は？」と声をかけられたことも、辞職を押しとどめた理由のひとつ。

私の努力もさることながら、創業150年の企業がここまでやってこられたのは、たゆまぬ企業努力があってこそ。営業から次なる配属先は製造課です。職人さんの指導のもと、電解メッキ加工技術を用いて型取りをする「電気铸造」を担当。素地となる銅板は重くて大変でしたが、貴重な体験でした。現在はグループ会社の丹陽商会で、ケースや商品立てなどの備品や部品の仕入れや手配を担当していますが、全然やっていることが違って、楽しく仕事をしています。七宝はぜいたく品ですから、コロナや不況では苦戦を強いられましたが、今後は海外の方にもよく知っていただけるように、SNS等を使った宣伝展開を模索しています。また、これまでになかった万華鏡のような新しいアイテムも企画したいですね。

学生時代は、あまりまじめな学生ではありませんでした(笑)。熱中したのは、漫画研究同好会の活動です。多彩なジャンルの漫画を読んだり、漫画や小説を書き、コピー機で小冊子を制作したりしていました。大学祭でも小冊子やイラストを販売しましたが、「面白いね」との声をたくさんいただきました。そんな反響にテンションが上がり、徹夜で新作を20冊仕上げ、翌日の大学祭で配りましたが、やりきった感を味わいました。

大学での学びは生かし切れてはいませんが、「伝統工芸の灯を絶やさない」という社長の考えは、私も同じです。最近は就職も売り手市場で、若い人たちの離職も多いと聞いていますが、長く勤めるとその会社の良いところも見えてくるはずです。また配置転換でいろいろな部署を回ると、会社の全貌を相対的につかむことができます。一時の感情で判断せず、ぜひ、じっくり腰を据えて、入社した会社の良さを見つけていただきたいと思います。





オフィス街でランチを、フェスやお祭りで飲食を提供するキッチンカーのプロデューサー、それが僕の仕事です。日本最大級のショップモビリティビジネス・プラットフォームを展開する株式会社Mellowの社員として、東海圏のキッチンカーのランチの市場の拡大を目指して動いています。その一方、2024年11月には個人事業主として「ドイロプロダクツ」を立ち上げ、キッチンカーをはじめとする飲食事業の開業相談や運用相談など、いわゆるコンサル的な仕事をしています。平日はMellowの社員として、週末と平日の夜は個人の仕事と、二足の草鞋をはいている毎日です。

大学卒業後の社会人歴9年間は営業一筋ですが、最初の3年間はどの職場も長続きせず、数社を渡り歩く状態。そんな時にたまたま出会ったのが、岐阜県各務原市を本拠にキッチンカービジネスを展開する株式会社メルカートです。ここには約6年間に在籍して、開業相談から出店、運営など一通りの流れを経験し、全国展開するMellowなら、もっとフィールドを広げられるのではないかと考え、転職を決めました。キッチンカー市場のさらなる拡大を目指し、土地のオーナーやイベント主催をはじめとする様々なステークホルダーと情報交換し、人脈を広げる。今はそれも大切な仕事です。一般の飲食店と比べたキッチンカーの最大の魅力は、お客さんのいる場所に自ら向かって商売ができること。その機動力を「チャンス」と捉えれば、初期費用を抑えて開業できるため、低リスクで始められる点も大きな強みです。このキッチンカーをブームで終わらせるのではなく、飲食店の新しい形態として普及させ、根付かせたいと思っています。

デザイン学科の卒業制作は、流木の家具。クリエイティブといいながら一人で作品を完結することはできません。制作にあたって、流木の情報を

持っている人や木を加工するための情報を持っている人の協力、また道具のある環境も必要になります。自分が持っているアイデアやコンセプトを磨きながらも、多くの人達の知識を汲み上げて作り上げていくのです。つまり、人脈も不可欠なのです。では社会へ出た時に、このプロセスを使って、どうやって現金化するのか、生活の糧にするのか。このクリエイティブとビジネスの感覚が一致したのが、営業であり、プロデューサーでした。

愛産大の良さは、卒業してからも母校とのつながりがあり、卒業生同士、共に活動できる場所があること。キッチンカーのビジネスでも、看板制作やグラフィックのイメージデータ制作など、デザイン学科の仲間に手伝ってもらっています。同じ釜の飯を食った仲間だけに、こちらの意図をすぐに理解してもらえるので、とても助かっています。

大学祭の人気イベント、豚の丸焼きはコロナ禍で中止されましたが、昨年、保健所の審査も通り見事復活した時には、嬉しかったですね。学長も「食べてみたい」と、校友会総会に参加されたほどです。

僕と同じ30歳代は、自分たちの時間をわずかですが持てるようになった年代代だと思います。そんな大人たちに、大学へもう一度戻っていただきたい。僕と同世代の方々が卒業後の約10年間、どんな経験を経て、どんな仕事をしているのか。めちゃくちゃ聞きたいです。一見何の共通点もない仕事や趣味だったとしても、知らない事を知るきっかけになるはず。そんな交流の場所を作るためにも僕は大人原山祭に関わっていきたくと思っています。



大学祭「豚の丸焼き」

奥土居 太一 さん

(造形学部デザイン学科・2016年卒業/21期生)



株式会社Mellow  
プロデューサー&ドイロプロダクツ代表

奥土居 太一・おどい たいち

1992年12月2日生まれ。岐阜県各務原市出身。岐阜県立各務野高等学校卒業後、造形学部デザイン学科に入学。卒業制作では流木を使った家具を制作。それは寺社仏閣の彫刻を生業とする父親の影響も。卒業後、数社での営業職勤務を経て、一時は父の弟子となるが、父を越えられないと断念。以後、キッチンカービジネスの道へ。オフは自分にはない知識をどう広げるかを模索する時間に全振り。「どんな業界でどんなジャンルの仕事に就くのかはあくまで『できること』。その枠に捕らわれず、これからは『やりたいこと』を追究したい」と抱負を語る。

クリエイティブもビジネスも、人脈づくりは必須。  
プロデューサーとして、キッチンカーの普及を目指す。



株式会社グランハウス  
一級建築士事務所 / 設計・インテリア  
**廣瀬 裕将** ・ひろせ ゆうすけ

1997年1月20日生まれ。岐阜県岐阜市出身。岐阜県立羽島北高等学校を経て、建築学科へ。卒業後、(株)日本ハウスホールディングスに入社。2020年に、ファイナンシャルプランナー3級、木造ハウジングコーディネーターの資格を取得。仕事は充実していたが、家づくりのすべてを担当したいと、2021年に(株)グランハウスに転職。2023年には二級建築士、翌年には古民家鑑定士1級を取得。ボランティアとして、鳥取県の古民家再生プロジェクトにも参加している。休日は、奥様、1歳のお子さんとショッピングモール巡りを楽しむ。

設計士として、お客様の想いに寄り添いながら、  
ちょっとカッコいい家をご提案。

**廣瀬 裕将** さん

(建築学部科建築学科・2019年卒業/15期生)

理系志望でしたが特にやりたいことはなく、工学部や他の学部もピンとこない。残ったのが愛産大の建築学科でした。漠然と入学した僕ですが、「インテリア設計」の授業で初めて、建築に興味を持ちました。内装の空間づくりは、楽しかったですね。就職活動中、店舗と住宅の設計で悩みましたが、父と叔父と同じ住宅関係の仕事をしていたので、ハウスメーカーに入社しました。営業も設計も両方の仕事ができるというのが決定打でした。営業成績は順調でしたが、ハウスメーカーの業務は分業制。設計士やコーディネーターが担当別に家づくりに関わるので、実際の家づくりにほとんど関わられませんでした。家づくりのすべてを担当した方がいい家になると思ったからです。転職したグランハウスは、設計士とつくるデザイナーズ住宅というコンセプトのもと、ちょっとカッコいい家をつくる設計事務所です。「はじめまして」のご挨拶から家づくりの最後まで、設計士が一貫して担当します。営業職をはさんでいないので、打ち合わせ中の何気ない会話から、お客様の思い描く理想の家のヒントを見つけ、その想いを形にしていく。使う素材一つとっても、メリットだけでなくデメリットも伝えてから選んでもらいます。使いにくい、かっこわるい、お金の無駄遣い…。そう思ったら「なぜダメなのか」をちゃんと伝えています。

現状の住宅業界ではハウスメーカーの成約率が数%に対し、グランハウスの2025年度の成約率は約35%です。設計士と直接話して、理想の家を提案するグランハウスの魅力を、新築計画中の若い世代は支持しているのだと思います。Instagramのフォロワーが10万人以上というデータからも、その魅力の大きさをご理解いただけると思います。ですが、営業からの転身は結構大変でした。ハウスメーカーでは会社を決めてもらうまでが仕事に

なりますが、ここではお客様と一緒に家を作っていく。スタンスがまるで違いますので、最初のうちは提案が上手くお伝えできず、お客様がほかのハウスメーカーへ、なんてこともありました。そこでお客様にとって本当に作りたい家にフォーカスし、家族の一員になったつもりで接客したところ、年間20組のお客様に選ばれるようになりました。家族の住みやすい家を本気で考え、向き合った結果だと思っています。ありがたいことに、成約したお客様の紹介や口コミも多く頂いています。今ではマネージャーとして、設計士を成長させることを、会社からは期待されています。

大学の学びで得たことは、建築への興味を持たせてくれたこと。住宅産業論の授業では、住宅業界の歴史や現状を学びました。バイトにも精を出しましたが、現場でいろいろな人に出会い、様々な接客業を経験できたことも今の仕事に役立っています。

大学祭では4年間、建築学科の仲間と揚げパンのブースを出店しました。バイト先のパン屋から素材を仕入れてそれを揚げたものですが、毎年200個を完売しました。その仲間も今では同業者。その内の一人は弊社の現場監督で、一人はハウスメーカー勤務です。彼らとの語らいは、情報交換だけでなく、やすらぎという意味でも、かけがえのないものです。僕は現在、年に1回か2回、愛産大建築学科でOBとして授業を担当しています。その際、心がけているのは住宅業界の現状をお話すること。一口に住宅業界といっても、ハウスメーカーや工務店、設計事務所では、家づくりのスタンスはまったく違います。建築業界を目指す皆さんには、たくさん情報を仕入れて、夢を実現できる進路選択をしていただきたい。卒業生も情報をたくさん持っていますし、いつでもウエルカム。ぜひ相談してほしいと思っています。



令和7年度校友会活動報告・計画

- 1. 令和6年度反省会、懇親会 …… 2024/12/14
- 2. 令和7年度役員会役員準備会議 …… 2025/5/21
- 3. 令和7年度役員会 …… 2025/6/14
- 4. 令和7年度総会 …… 2025/10/12
- 5. 校友会会報誌発行 …… 2025/9/11
- 6. 大人原山祭会議 …… 月1回/2025/1～9月

令和6年度会計報告

「収入の部」

前年度(令和5年度)繰越	¥24,585,570
入会費(1年生在籍者数+3年次編入学生×¥4,000)	
造形学部・経営学部 205名	¥820,000
同窓会費(在籍者数×¥5,000)	
造形学部・経営学部 862名	¥4,310,000
月賦返還金(育英・奨学金)	¥0
収入の部 計	¥29,715,570

「支出の部」

会報誌事業費	¥2,684,176
校友会Webサイト更新管理費	¥142,248
情報事業費	¥0
大学祭事業費	¥3,991,707
学生活動支援事業	¥12,180
名簿維持管理委託費	¥55,000
育英・奨学金	¥0
事務費	¥112,460
後援事業費	¥357,973
支出の部 計	¥7,355,744

「合計」

収入の部 計	¥29,715,570
支出の部 計	¥7,355,744
次年度繰越金	¥22,359,826

令和7年度校友会予算案

※入会費、同窓会費納入者数は令和5年5月1日の記録に基づく

前年度繰越	¥22,359,826
入会費(1年生在籍者数+3,4年次編入学生×¥4,000)	
造形学部+経営学部 163名	¥652,000
同窓会費(対象者数×¥5,000)	
造形学部+経営学部 754名	¥3,770,000
校友会育英・奨学金返還金	¥0
収入の部 計	¥26,781,826

「支出の部」

会報誌事業費	¥2,300,000
校友会Webサイト更新管理費	¥500,000
情報事業費	¥11,000
大学祭事業費	¥3,000,000
校友会学生活動支援事業	¥150,000
名簿維持管理委託費	¥55,000
校友会奨学金	¥600,000
事務費	¥100,000
校友会後援事業費	¥400,000
支出の部 計	¥7,116,000

「合計」

収入の部 計	¥26,781,826
支出の部 計	¥7,116,000
次年度繰越金	¥19,665,826

令和7年度校友会活動計画

- 1. 広報事業計画 校友会会報誌、校友会Webサイト、SNS
- 2. 企画事業計画 在学生懇親会、大学祭参加
- 3. 校友会学生活動支援事業 在学生卒業研究支援、審査員費
- 4. 情報事業計画 会員名簿管理、校友会運営サイト運営管理
- 5. 校友会奨学金 給付型奨学金に変更して実施開始
- 6. 校友会後援事業 卒業生活動支援、同窓会後援事業の実施

(詳しくは校友会webサイト <https://www.asu-mate.com>まで)

愛知産業大学校友会  
奨学金制度の規程

目的・運営

- 第1条 1. この規程は、愛知産業大学学生で、成績優秀、品行方正で、かつ他の模範になると認められた者に対して、奨学金を「給付」する事により学業を支援する事を目的とする。  
2. 愛知産業大学校友会奨学金制度(以下「奨学金」という。)は、愛知産業大学校友会が基金を出資し運営する。  
3. 奨学金の候補者選定は愛知産業大学が行い、愛知産業大学校友会役員会で決裁する。

- 第2条 1. 奨学金は、返還を要しない「給付奨学金」とする。  
2. 給付総額は年間 60 万円とし、応募者が複数の場合は、給付総額を対象者に配分する。  
3. 定員枠は若干名とする。

- 第3条 基準及び条件は次のとおりとする。  
(1) 対象は、愛知産業大学の在籍生とする。  
(2) 成績優秀、品行方正で、かつ他の模範になると認められた者。  
(3) 校友会の役員または活動に参加する者。  
(4) 応募が複数の場合は女子学生を優先する。

選考と決定

- 第4条 奨学金の候補者は、第3条の基準及び条件に基づき、大学が選定し、校友会役員会の決裁をもって決定とする。

手続き

- 第5条 1. 奨学金の応募を希望する学生は、所定の願書に必要事項を記入の上、学生課まで提出する。  
2. 提出された応募は、第4条の選考と決定に諮る。  
3. 第4条による結果は応募者に通知する。  
4. 奨学金の支給は、校友会が第4条による結果に基づいて支給する。

改正

- 第6条 この規程の改正は、愛知産業大学校友会役員会の承認を得るものとする。

令和7年度校友会 役員・常任役員 ※(新)は新任

役員(正会員)／常任役員

- 第1期(1996年) 門井由佳(産/副会長)、森本達也(産)、田中 学(建/相談役)
- 第2期(1997年) 井原 勇(建/相談役)
- 第3期(1998年) 檀 正宏(産)、関 辰昭(産)、廣瀬伸行(産/会計)
- 第10期(2005年) 金刺健太(建/幹事長)、林 一嘉(産/参与)
- 第11期(2006年) 榎本 晋(産/幹事)、山田剛嗣(経)
- 第12期(2007年) 嘉森大介(産/会長)、林 亨(産/幹事)
- 第14期(2009年) 梅田佑太(経/会計監事/新)
- 第20期(2015年) 鈴木摂子(デ)
- 第21期(2016年) 奥土居太一(デ)
- 第22期(2017年) 服部恭典(経/会計監事/新)
- 第27期(2022年) 小塚湧太(経)
- 第28期(2023年) 鈴木 零(経)
- 第29期(2024年) 濱口魁都(経)、小林龍平(経)

建/建築学科、産/産業デザイン学科、デ/デザイン学科、ス/スマートデザイン学科、経/経営学部

役員(特別会員)

- 建築学科長 …… 宇野勇治 先生
- 総合経営学科 …… 木村秀幸 先生 (校友会顧問)
- スマートデザイン学科 …… 林羊齒代 先生 (校友会顧問)
- 総務部長 …… 落合英治 部長
- 学生課長 …… 光部達也 課長

その他、教員・事務職員はどなたでもオブザーバー参加可能とする。

校友会組織

- 広報委員会 …… 門井由佳
- 企画委員会 …… 金刺健太、嘉森大介
- 情報委員会 …… 廣瀬伸行

# Information

## ◎会報誌が届いていない卒業生をご存知の方へ

愛知産業大学造形学部・経営学部を卒業したのに会報誌が届いていないという方をご存じありませんか。会報誌が転居先不明などで届かなかった場合は、次回からの会報誌発送を止めています。もし、届いていないという方をご存知でしたら、ご本人様から、現在の連絡先を本誌連絡先までお知らせいただけますようお願いいたします。

## ◎校友会 web サイト / facebook

校友会では下記 URL で web サイト、facebook を運営しています。最新情報の閲覧、情報交流はもちろん、住所変更や各種申請書などが web サイトからダウンロードおよび申請可能ですので、ご活用ください。

※会員情報の変更 / 役員参加申込み / 卒業生の活動支援 / 大人原山祭申込みなども申請可能です。



PC / 携帯共通  
<https://www.asu-mate.com>



facebook 検索  
愛知産業大学校友会

## ◎役員・常任役員の募集

校友会とは、母校と卒業生とのネットワークづくりや、親睦を深めるための活動を目的として発足された団体です。運営は卒業生各期の代表である役員と常任役員が行っています。役員は年に1回以上、役員会にて計画された校友会活動についての決議を行います。常任役員は、校友会活動の計画と実際の運営を行います（現在は、メールやオンライン、対面などで活動中）。参加ご希望の方は、下記までご連絡ください。また、役員とあわせて、大学祭で出店やお手伝いなどの活動にご参加いただける有志の方の募集も行ってまいりますので、お気軽に下記の連絡先までお問い合わせください。

### 連絡先

〒444-0005

愛知県岡崎市岡町原山12-5 愛知産業大学 校友会  
fax:0564-48-7756 mail:info-koyu@asu.ac.jp

※スタッフ常駐ではないため、なるべくメールでのご連絡をお願いします。

愛知産業大学 校友会会報誌 ASU communication vol.23 2025年9月11日発行

## 令和7年度 校友会スケジュール

大学の行事に合わせて、校友会主催のイベントを多数ご用意しています。卒業生の皆様、同期生やご家族お話し合わせの上、是非ご参加いただけますようお願いいたします。 ※実施内容は変更・中止になる場合があります。

### ●在学生懇親会 / 校友会反省会

大学祭成功に向け、校友会と学生の懇親会「nanana night」を実施。年度末には校友会活動の反省会、懇親会を実施しています。

### ●2025年10月11日(土)、12日(日) 大学祭「大人原山祭」

場所 / 本学クラブハウス棟  
卒業生同士、在学生・大学との集いの場の創出。

### ●校友会卒業研究支援 / 審査員賞

造形学部・経営学部の卒業研究(作品・論文)を対象に、研究成果の評価や制作意欲向上のため「校友会審査員賞」の授与や作品展示の支援を実施します。

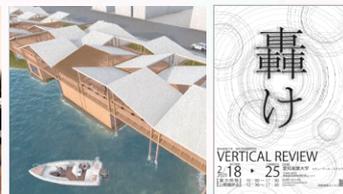
### ●2026年3月19日(木) 愛知産業大学卒業式

校友会代表祝辞。退職される恩師へ、校友会花束贈呈。



詳しくは、校友会 web サイト(<https://www.asu-mate.com>)または facebook「愛知産業大学校友会」でアナウンスしています。

### 建築学科「パーティカルレビュー」



### 懇親会「nanana night」

